

特別支援学校 学校評価一覧表 ② (令和3年度版)

(様式2)

| 羅 針 盤                               |                                         |                                                                                               | 縣庁分等                  | 達 成 度 |   |    | 改 善 状 況 の ま と め                                                                                                                             | 次 年 度 の 課 題                                                                                                                                               |
|-------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------|---|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 評 価 対 象                             | 評 価 項 目                                 | 具体的数値項目                                                                                       |                       | ①     | ② | 総合 |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                           |
| Ⅰ 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。 | 1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。  | ○ 学校からのおたよりや連絡帳等から「学校の様子がよく分かる」と80%以上の保護者が答えている。                                              | 小学部主事<br>中学部主事<br>事務部 | A     | A | A  | ○ 児童生徒の生活の様子について、ささいなことも連絡帳や電話、保護者送迎時等で丁寧に伝え、アンケートではおよそ90%以上の評価を得た。                                                                         | ○ 引き続き、児童生徒の生活の様子についてよく観察し、保護者に丁寧にかつ 迅速に伝えていく。<br>○ 今後も、保護者に対して丁寧な説明、迅速な対応を心がける。                                                                          |
|                                     |                                         | ○ 学校行事やPTA活動等に参加している保護者が80%以上である。                                                             | 渉外部<br>P T A係         |       | A | A  | ○ 感染症対策のため学校行事は授業参観1回のみ、PTA活動はほぼ実施できず人数を絞った会議を2回のみ行った。各委員会ごとに教師と役員が連絡を密に取り合い、書面開催となったP T A行事もあった。また、PTA本部役員と検討し、感染症対策を徹底した上で出来る活動を行うこともできた。 | ○ 感染症対策を徹底すると共に、引き続き保護者が参加しやすい環境を設定したりコロナ禍でも出来る活動を一緒に検討していく。<br>○ 感染症対策を考えたPTA行事の検討の必要性を伝え、PTA会長・副会長を中心に話し合う機会を設けられるようにする。<br>○ コロナ以前の活動についても周知を図れるようにする。 |
|                                     | 2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。 | ○ 「個別の教育支援計画」について、学校と保護者との共通理解に基づいて計画を作成するために、教師が保護者のニーズや心情に寄り添う支援を行い、80%の保護者から有用であると評価を得ている。 | 学習指導部<br>学習指導係        | A     | A | A  | ○ 教育相談や連絡ノートでのやりとり等を通じて、保護者のニーズや心情に寄り添い、保護者との共通理解に基づいた支援内容を設定して取り組むことができた。                                                                  | ○ 引き続き、保護者と丁寧に情報交換や共有ができるようにする。また、学校、保護者、地域、関係機関が共通理解を図り、より連携し合いながら支援を行えるように、情報交換や意見交換が行える機会を増やせるようにする。                                                   |
| Ⅱ 地域の特別支援に関するセンタ－的な役割を果たしていますか。     | 3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。      | ○ 外部の幼児児童生徒等に対する訪問相談において、相談記録の手交を行い、40%のケースにおいて事後の聞き取りと必要に応じて手立ての見直しを行う。                      | 地域支援部<br>エリアサポート係     |       | B | A  | ○ 継続して相談対応できたケースが多く、手立ての見直しを行うことができた。別のケースで複数回訪問した園（所）校では、前回対応したケースの担任と話をすることができ、必要に応じて手立ての見直しを行った。                                         | ○ 1回の相談では解決にいたらないケースが多いので、1回目の相談時に、再相談のおおよその時期について、担任と話し合っておき、再相談につなげられるようにする。                                                                            |
|                                     |                                         | ○ 地域の幼保小中学校等への情報発信として地域支援だよりを年3回発行している。                                                       | 地域支援部<br>エリアサポート係     |       | B | A  | ○ 第1号の発行が9月となり遅れてしまったため、12月、1月に続けて発行した。3月末に最終号を発行予定である。                                                                                     | ○ 地域の学校のニーズに添った情報発信を計画的に年3回は行う。今後は年度初めに発行し、本校のサポート事業の内容について、早めに情報発信していく。                                                                                  |
|                                     | 4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。                 | ○ 個別の指導計画の立案・評価について、児童生徒の実態に応じた指導を実践できるよう、学年・学部での共通理解と検討を年3回行っている。                            | 学習指導部<br>学習指導係        | A     | A | A  | ○ 学年や学部間で共通理解を図り、検討を重ねながら個別の指導計画の立案や評価ができた。                                                                                                 | ○ 適切な実態把握や目標設定、評価が行えるように、引き続き、学年や学部間で検討や見直しを行い、学習状況に応じた授業改善を図っていけるようにする。                                                                                  |
| Ⅲ 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。    |                                         | ○ 目標を達成するための手立ての1つとして、ICTを活用した授業実践をしていると、80%以上の教師が答えている。                                      | 研修部<br>校内研修係          | A     | A | A  | ○ 第1回が84%、第2回が91%と目標達成の手立ての1つとして、ICTを活用し、授業を行っている教員の割合が増えている。校内研修全体会でも、ICTを活用したことによる研修の成果が多く発表された。                                          | ○ ICTありきではなく、児童生徒一人一人の目標達成の手立ての一つとして、教師が考えて活用できるように、今後も校内研修等で、教員のスキルアップ研修やICT活用場面についての情報提供を行っていく。                                                         |
|                                     | 5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。             | ○ 「年間指導計画」と「個別の指導計画」を関連させた授業づくりを行い、児童生徒の学びの状況に応じた「年間指導計画」の作成や評価の見直しを年4回行っている。                 | 学習指導部<br>学習指導係        | A     | B | B  | ○ 「年間指導計画」と「個別の指導計画」について、学年や学部間で検討や見直しを行い、作成や評価を行うことができた。また、実態や学習指導要領の内容に基づき、より適切な指導や評価ができるような授業づくりを行えるようにしたい。                              | ○ より作成、活用しやすい「年間指導計画」や「個別の指導計画」になるように、書式や内容について見直し、改善を図っていく。                                                                                              |

|                            |                                          |                                                                    |                           |   |   |   |                                                                                                                                                          |                                                                                                                                  |
|----------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------|---|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅳ 健康や安全の確保に努めていますか。        | 6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。                | ○ 児童生徒の健康上の配慮や対応について学期に2回以上、面談や連絡ノート等で、保護者と情報交換を行っている。             | 保健部<br>保健係                | A | A | A | ○ 学部主事・学年主任を軸に職員の共通理解を図りながら面談や電話・連絡ノート等で、担任と保護者間の情報交換を行ってきた。アンケートでは職員96%、保護者からの評価は98%だった。                                                                | ○ 引き続き、担任と保護者間の連絡を密にし、学年会や学部会、朝会等で周知し、共通理解ができるようにする。                                                                             |
|                            |                                          | ○ 嘔吐物処理方法やてんかん発作時の対応、AEDの使用方法、新型コロナウイルス等の感染症対策等を職員に周知する。           | 保健部<br>保健係                | B | A | A | ○ コロナ対策については、年度初めの職員会議で周知を図った。嘔吐物処理方法については、年度初めの職員会議やイントラを通じて周知を図ったが、感染症流行時期前での周知がやや遅れた。てんかん発作の対応については、現職研修を利用したり、緊急対応訓練の中で発作対応をした学年には養護教諭より対応方法を伝えたりした。 | ○ コロナウィルス感染症対策では、引き続き消毒作業や換気等に協力頂けるよう呼びかける。また、感染状況によって出てきた課題に対応する。嘔吐物処理方法やAEDの使用方法など、適切な時期に職員への周知を図れるよう、年間を見通した計画をする。            |
|                            | 7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。           | ○ コロナ流行下に対応した避難方法を検討し、反映させた訓練を年に3回実施する。                            | 安全部<br>防災係                | A | A | A | ○ 密を避ける形に計画を変更しつつ、3回実施できた。火災避難訓練では、避難経路の確認を盛り込んで実施できた。                                                                                                   | ○ 県の警戒度や学校の活動の基準を守りつつ、必要な要素が盛り込める形での避難訓練の実施を工夫しながら行う。                                                                            |
|                            |                                          | ○ 防火設備についての研修を計画し、研修を通して90%以上の職員が消火栓の使用方法を理解する。                    | 安全部<br>防災係                | A | A | A | ○ 係と希望者で研修を受け、他の職員は研修の様子をビデオにて視聴伝達する形で研修を行った。当該職員全員の研修受講を確認した。                                                                                           | ○ 職員規模を考えると、今後もグループ単位で研修を受けて、他グループは視聴伝達にて研修を受けるパターンの方がより実践的なケースも考えられるので係で検討する。安全巡回点検にて適された内容を研修として盛り込む計画をする。                     |
|                            |                                          | ○ 児童生徒の首から上の怪我に対して、迅速な対応と丁寧な説明ができていると90%以上の保護者や教職員から肯定的な評価が得られている。 | 保健部<br>保健係                | A | A | A | ○ 養護教諭、管理職、学部主事と怪我の状態を確認し、保護者に早い段階で連絡を取り、十分な説明を行った。また、保健室より怪我の詳細、事後の様態の記載された通知を保護者宛てに出した。職員の対応は共通理解もされてきており、100%となった。保護者からの評価も97%であった。                   | ○ 次年度も引き続き、首から上の怪我については、迅速かつ丁寧な対応を心がけていくよう対応について共通理解が図れるよう職員に呼びかけていく。                                                            |
|                            | 8 いじめのない学校作りに取り組んでいますか。                  | ○ 保護者の90%以上が、学校はいじめの未然防止、早期発見、早期解決に取り組んでいると答えている。                  | 生徒指導部<br>生徒指導係            | A | A | A | ○ いじめ対策委員会を5回実施した。情報を共有しながら、児童生徒のいじめの早期発見・対応・解決が図れるようにしてきた。<br>○ 児童生徒の気持ちに寄り添い、児童生徒が落ちついて学校生活を送れるよう支援してきた。                                               | ○ いじめ対策委員会で情報を共有しながら、児童生徒のいじめの早期発見・対応・解決を図り、法に基づく組織的な対応を徹底する。<br>○ 児童生徒の気持ちに寄り添い、児童生徒が落ちついて学校生活を送れるよう支援していく。保護者へいじめ対策について情報発信する。 |
| Ⅴ 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。 | 9 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。   | ○ 個別の教育支援計画で設定した目標を、キャリア教育の能力域を基に整理する書式の原案を作成し、職員に提案する。            | 進路指導部<br>キャリア教育係          | B | B | B | ○ 学習指導部、教務主任と協働して、検討会を実施した。見やすさや理解しやすさを考え、キャリア教育の目標を教育支援計画に取り入れることは実施せず、個別の指導計画の中に、キャリア教育に関する目標を入れることを検討した。                                              | ○ 個別の指導計画の書式が、保護者にとって、分かりやすく見やすいものになるよう検討する。                                                                                     |
|                            |                                          | ○ 外部講師による研修会を年1回以上実施している。                                          | 進路指導部<br>キャリア教育係          | A | A | A | ○ 外部講師による職員研修では、概ね+の評価を得ることができた。<br>○ 外部講師による進路に関する授業を実施し、生徒の高等部に対する興味関心を高めることができた。                                                                      | ○ 次年度の外部講師による研修会については、職員のアンケートを基に講師を選定する。<br>○ 引き続き、中3生に対し、高等部教員による研修会を行う。                                                       |
|                            | 10 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。 | ○ 進路指導に関する行事を年5回以上実施している。                                          | 進路指導部<br>進路指導係<br>キャリア教育係 | B | A | A | ○ 新型コロナウイルス感染症流行により、地域総合ネットワーク相談会は中止となったが、現場実習をできる範囲で実施したり、リモートで研修会行ったりすることができた。                                                                         | ○ 現場実習が、新型コロナウイルス感染症対策で実施困難な場合を想定し、校内実習において実習活動の開発や部材や補助具の追加の準備を行う。また、地域総合支援ネットワーク相談会も中止になることもあり、他校と連携を図っていく。                    |
|                            |                                          | ○ 本校保護者及び地域の関係者に向けての情報発信として、「進路だより」を年5回以上発行している。                   | 進路指導部<br>キャリア教育係          | B | A | A | ○ 「進路だより」を現時点で4回発行した。あと1回発行する予定である。                                                                                                                      | ○ 本校での進路に向けた取り組みなど発信していく。                                                                                                        |